

第174回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年9月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,723	-0.62	-0.18	4,060	-0.04	-0.17
東部地区	14,398	-0.33	0.08	5,710	1.00	0.15
西部地区	10,649	-1.31	-0.26	4,004	-0.19	-0.09
駅南地区	6,267	-1.61	0.03	2,665	-0.14	-0.14
半田地区	3,624	0.24	0.13	1,359	1.11	-0.14
横山地区	5,661	-0.70	-0.05	1,880	0.53	0.21
茨目・田尻地区	6,958	0.04	-0.02	2,343	0.86	-0.08
荒浜地区	5,090	-0.60	0.09	2,018	1.30	0.34
その他地区	20,705	-1.54	-0.05	7,176	-0.08	0.01
西山町地区	6,266	-0.63	-0.12	2,122	0.00	0.04
高柳町地区	1,914	-3.52	-0.41	842	-1.52	-0.47
柏崎市計	91,255	-0.92	-0.05	34,179	0.27	0.00
刈羽村	4,875	-0.97	-0.12	1,551	0.64	-0.06
小国地区（長岡市）	6,286	-2.46	-0.19	2,118	-1.53	-0.42
出雲崎町	5,134	-1.60	-0.01	1,811	-0.11	0.16
合計	107,550	-1.04	-0.06	39,659	0.17	-0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で848人、0.92％、刈羽村で48人、0.97％、小国地区（長岡市）で159人、2.46％、出雲崎町で84人、1.60％とそれぞれ減少し、全体では1,139人、1.04％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で54人、0.05％、刈羽村で6人、0.12％、小国地区で12人、0.19％、出雲崎町で1人、0.01％と減少した結果、全体では73人、0.06％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区33世帯、1.53％、出雲崎町で2世帯、0.11％と減少したものの、柏崎市で95世帯、0.27％、刈羽村で10世帯、0.64％と増加したことから、全体では70世帯、0.17％の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で3世帯、0.16％と増加したが、柏崎市で1世帯、0.00％、刈羽村で1世帯、0.06％、小国地区で9世帯、0.42％と減少した結果、全体では8世帯、0.02％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,004		48.30		-0.79	
月間有効求職者	2,200		20.61		1.28	
月間有効求人倍率	0.46	0.56	0.09*	0.18*	-0.01*	-0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,004人と前年同月比で327人、48.30％の増加、前月比では8人、0.79％と減少している。

一方、月間有効求職者数は2,200人と前年同月比で376人、20.61％の増加、前月比でも28人、1.28％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.46倍と前年同月比で0.09ポイント上回ったが、前月比では0.01ポイント下回っている。なお、県平均0.56倍と比べると0.10ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が418人と前年同月比で148人、26.14％の減少、月間新規求職者数は625人と前年同月比で27人、4.14％と減少した結果、月間新規求人倍率は0.67倍となり、前年同月の0.87倍に比べて0.20ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年9月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	28	-3	7	153	-100
共 同 住 宅	0	-2	-3	5	-1
事 務 所	0	0	0	3	-2
作 業 所・工 場	2	2	1	9	7
営 業 建 物	1	0	0	9	-8
公 共 建 物	0	0	0	0	-2
そ の 他	4	-8	-1	58	-9
合 計	35	-11	4	237	-115

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が35件と前年同月比で11件の減少となったものの、前月比では4件の増加となっている。工種別における主な増減は、前年同月比ではそのほか8件の減少、前月比では一般住宅（併用）が7件の増加となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が25件、増築が9件、改築が1件となっている。また、一般住宅（併用）28件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が21件（うち新築11件、増築9件、改築1件）、市外施工業者が7件（うち新築7件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,102	-0.20	0.17	21,976	29.30	2.30
電 力	10,714	-2.94	-1.85	47,544	18.33	3.35

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で136口、0.20%の減少となったものの、前月比では115口、0.17%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で325口、2.94%の減少、前月比でも202口、1.85%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で4,981kwh、29.30%の大幅な増加、前月比でも496kwh、2.30%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で7,367kwh、18.33%の大幅な増加、前月比でも1,543kwh、3.35%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	546,536	-29.12	-18.68	789,094	4.34	0.33
営 業 用	218,047	12.60	-23.33	142,279	5.41	-6.22
工 場 用	812,439	23.22	5.04	148,154	-3.90	-1.51
官 公 学 校 用	411,731	36.54	-23.11	100,348	14.70	-11.86
そ の 他				103	-84.69	-18.89
合 計	1,988,753	3.27	-12.21	1,179,978	4.09	-1.88

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で63,129m³、3.27%の増加となったものの、前月比では276,754m³、12.21%の大幅な減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除くすべての用途で大幅な増加、前月比では工場用を除くすべての用途で大幅な減少となっている。

一方、水道給水量においては、前年同月比で46,471m³、4.09%の増加となったが、前月比では22,623m³、1.88%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用、その他を除くすべての用途で増加、前月比では家庭用を除くすべての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	91,356	-0.41	-13.11	94,960	-1.08	-14.62
西 山	42,790	-15.56	-22.69	39,500	-14.21	-29.36
米 山	20,707	-15.45	-40.07	19,798	-13.26	-39.49
合 計	154,853	-7.22	-20.60	154,258	-6.43	-22.82

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で12,055台、7.22%の減少、前月比では40,198台、20.60%と大幅に減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で10,608台、6.43%の減少、前月比では45,616台、22.82%の大幅な減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では入口・出口ともにすべてのインターで減少、前月比でも入口・出口ともにすべてのインターで大幅な減少となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	354,280	0.29	-1.02	150,636	0.86	1.47
平 残	354,420	-1.13	-1.25	147,694	0.81	0.40

預金は、末残が前年同月比で1,045百万円、0.29%の増加となったものの、前月比では3,685百万円、1.02%と減少している。また、平残においては、前年同月比で4,063百万円、1.13%の減少、前月比でも4,487百万円、1.25%の減少となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,291百万円、0.86%の増加、前月比でも2,193百万円、1.47%と増加している。また、平残においても、前年同月比で1,190百万円、0.81%の増加、前月比でも598百万円、0.40%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	29,075	-5.33	-14.62
交 換 金 額	19,169	-0.74	-24.31
不 渡 り 手 形 枚 数	10	-75.00	-82.14
不 渡 り 手 形 金 額	14	-63.13	-60.40

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,638枚、5.33%の減少、前月比でも4,982枚、14.62%と大幅に減少している。また、交換金額においても前年同月比で143百万円、0.74%の減少、前月比でも6,157百万円、24.31%の大幅な減少となっている。なお、不渡り手形は10枚、14百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月2件、前月5件）、負債総額28億円（同1億円、同19億円）となっている。地区別では、下越地区で5件（新潟市4件、佐渡市1件）、中越地区で3件（三条市2件、三島郡1件）、上越地区では発生していない。業種別は、製造業3件、販売業3件、サービス業1件、その他1件となっており、倒産原因については、8件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は8件、負債総額で28億円と、前年同月比では件数で6件増加、負債総額では27億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生している。

県内経済は、持ち直してきているものの、厳しい状況が続いている。なお、円高の進行やデフレの影響等により、企業の先行きへの不安が高まっている。

企業収益は持ち直してきており、景況感は緩やかな改善が続いている。個人消費・物価は、持ち直しの動きがみられる。また、雇用面は持ち直しているものの、引き続き厳しい状況となっている。